

オープンセミナー

会場：放送大学富山学習センター講義室1

平成25年8月10日(土)13:30~15:00

**死ぬまでに読んでおきたい英詩
—ソネット 73 番**

内藤 亮一 富山大学人間発達科学部 教授

平成25年8月11日(日)13:30~15:00

**世界の下剤を求めて
—なぜ、アレキサンダー大王はソコトラ島に遠征したのか—**

服部 征雄 放送大学富山学習センター 所長

平成25年8月17日(土)13:30~15:00

現代の出産事情

永山 くに子 富山大学名誉教授

平成25年8月18日(日)13:30~15:00

**悲しいのはなぜ? 楽しいのはなぜ?
—感情の心理学**

海老原 直邦 富山大学名誉教授



放送大学富山学習センター

〒939-0311

富山県射水市黒河5180(富山県立大学内)

※「県立大学前」信号機そばの入口から入って
奥の白い建物(計算機センター)の3階です。

TEL 0766(56)9230/FAX 0766(56)9232

E-MAIL toyama.sc@ouj.ac.jp

ホームページ <http://www.ouj.ac.jp/>

講義概要

死ぬまでに読んでおきたい英詩—ソネット 73 番

内藤 亮一 先生（専攻：イギリス文学）

少々物騒なタイトルですが、子どもの頃の「ナポリを見てから死ね」というフレーズが頭にこびりついていたのと、この詩が去りゆく者への惜別の念を歌ったものなので「一度」ではなく、「死ぬまでに」となりました。この詩を読んだ（読まされた）のは、大学時代のことです。シェイクスピアの「ソネット」という形式で書かれた詩の中でも傑作のひとつで、批評に取り上げられることも多いからでした。しかしそのころは、それほどこの詩に特別な思いを抱きませんでした。それが年齢を重ねていくうちに、何かと思いだされるようになりました。文学の衰退が叫ばれて久しいですが、こういう詩を読むと文学の力というものを感じます。たまには、詩の味読もよいのではないのでしょうか。

世界の下剤を求めて—なぜ、アレキサンダー大王はソコトラ島に遠征したのか—

服部 征雄 先生（専攻：和漢薬学）

アロエ、センナはアフリカ、ギリシャ、インドなどで古くから緩下剤として広く使用されてきました。一方大黄は中国文化圏で瀉下作用がある薬物として広く使われ、シルクロードを経てローマ帝国、ヨーロッパ世界にもたらされ非常に高価な品として取引されました。また、アメリカインディアンはカスカラサグラダを下剤として利用してきました。近年の研究からこれらの下剤はともにアントラキノン配糖体を含むことがわかりましたが、そのままでは効果が無く腸内細菌の働きで初めて瀉下活性が現れることが証明されました。

現代の出産事情

永山 くに子 先生（専攻：母性看護学）

近年、日本では少子化が進み、社会的にも大きな問題となっています。ここのところ、女性が一生のうち、何人子どもを持つか、つまり、合計特殊出生率が 1.3 前後を推移して少子化に歯止めがかかっていないのは事実です。その背景には多くの課題がありますが、様々な出産事情やそもそも、子供が授からないカップルの存在が今、注目されています。そこで、今回は現代の出産事情のなかでも高齢化する初産婦や育児状況、不妊とその対応について話題を提供し、ともに考えてゆきたいと思えます。

悲しいのはなぜ？ 楽しいのはなぜ？ —感情の心理学

海老原 直邦 先生（専攻：心理学）

日常生活において、私たちは自分や他人の「感情」や「気分」のありようについて何かと関心をもつことが多いのではないのでしょうか。心理学の分野においても、感情（気分）がテーマとして取り上げられ、種々のアプローチによる研究がなされてきました。このセミナーでは、感情という心の状態が、「認知」（判断したり、考えたりする知のはたらき全般）という心のはたらきと関連づけることによって、より正確に理解できるようになることをお話しします。心理学におけるこのような「認知論的」な感情の研究は、この 20 数年間、特に盛んになってきており、多くの実証的研究が行われています。そのような研究に基づく資料やデータを参照し、感情と認知の強い結びつきを示唆するような日常的事例にも言及しつつ、心理学的研究の成果を現実の生活場面に生かすことができないか探してみたいと思います。

オープンセミナー終了後、オープンキャンパス(入学説明会)を開催します。

また、富山学習センターでは、随時個別相談会を実施しています。（要事前予約）

履修科目選択、編入学（短大卒、（一部）専門学校修了）、資格関係などの相談に応じます。

随時体験入学もできます。実際の放送授業を体験し、確認してください。

放送大学を知っていただくために、ご家族・友人・知人にぜひご紹介下さい。